上牧里山自然パークとパブリック・フットパス（自然体験道路）

Walden Pond Times

March 2015 Vol.23

間伐＋αのあたらしいかたち
～長野県伊那市の「上牧里山づくり」の取り組み～

寒さが特に厳しかったこの冬も終わりを告げ、待ちに待った春がやってきました。温かな空気に誘われて、野山を散策しに出かけるのもいいですね。

さて今回は、長野県伊那市にある「上牧里山自然パーク」に関わる、上牧区の里山づくりの取り組みをご紹介します。ここ最近、地元紙で取り上げられるなど注目されることの多い同地区ですが、どういった取り組みをしているのでしょうか？

伊那谷は天竜川が南北に流れ、その両端には天竜川が長い時間をかけて造ったと言われる河岸段丘があります。

その斜面にできた段丘林があちこちに存在していて、上牧区でも、昔から身近な森林として利用していました。

ここ四、五〇年、間伐がされずに荒れてきたこの段丘林を、上牧区の有志が整備しようと「上牧里山づくり」を立ち上げたのが二〇一三年。きっかけは、神社の西斜面にあった福寿草の自生地を復活させようという動きと、また深刻化する松枯れを食い止めなければならないという思いからでした。

上牧区民の中には、自然の動植物や歴史に詳しい専門家もおり、この「上牧里山自然パーク」事業にあたり、森林にはキツネやタヌキ、オオタカ、サンコウチョウ、オオムラサキ、ミヤマシジミなどが住み生態系が豊かなこと、また古墳や鎮守の森、石仏など歴史的に貴重な史跡があることが指摘されました。

そこで、自然循環型社会やランドスケープデザイン等を専門とする信州大学の上原先生をアドバイザーとして迎え、地域の住民が皆でこの事業に参加し、自然環境に配慮しながら利用できるような場所を目指して行くこととなったのです。

総合学習に取り組む小学５年生に声をかける上牧里山づくり代表・大雲田氏。

ここで特筆すべきは上原先生が提案した「パブリック・フットパス（Public footpath）」構想です。この「パブリック・フットパス」とは、イギリスで制定されている公共の散歩道のことです。古くからイギリスでは、歩くことを楽しむのが国民の権利とされており、森林や丘陵地、また個人の農場や敷地内を開放しています。美しい自然や街並を眺めながら、時には小動物や羊と出会う…そんな素敵な散歩道が国中に編み目のように張り巡らされており、誰もが自由に散策することができるのです。

日本で初めての「パブリック・フットパス」を上牧区の段丘林に造ろう、というこの提案に、上牧里山づくりの皆さんは「これだ！」と思ったそうです。

まず必要な間伐を行う際には、搬出用の林道ができるだけ生態系を壊すことのないよう配慮しました。昔からの小道を整備して林道と繋ぐなど工夫し、間伐で得た木材は、休息小屋や柵、案内板等の材料となったり、区の薪ストーブユーザーの薪となりました。北部、中部、南部の三つのコースを整備し、それぞれに展望台や見所などを示した立て札を配しました。大人だけでなく、区内の伊那北小学校の生徒達も、木を使った階段や柵を設置したり、端材でできたチップを林道にまくなど、作業に加わりました。

イベントのひとつ、アニマルトラッキング。鳥の巣を観察。

こうして徐々に人の手が入り、整備された上牧の段丘林は、「上牧里山自然パーク」として自然を体験しリラクゼーション効果を得る場所に生まれ変わりました。このパークを区民だけでなく、もっと広く知ってもらうべく、動植物の観察会やオリエンテーリングなどの歴史や自然を学ぶイベントも開催されています。作業に加わった小学生たちも、総合学習の時間は弓を片手に森の中を駆け回ります。自分たちが作業したパーク内で自然や郷土の歴史に触れ合い遊ぶことは、子供たちの豊かな心を育んでくれるに違いありません。

今回こうした上牧区の取り組みを「新しい取り組み」としてご紹介しました。しかし、森林を整備し、利用する循環型の社会は、実は昔からの里山の暮らしにそのヒントがあると、「上牧里山づくり」の事務局長・唐木さんは言います。アイディアと行動力に溢れた上牧区の皆さんの力で、上牧の段丘林はますます素敵な里山となっていくでしょう。

四月にはちょうど辛夷や桜が見頃を迎えます。高遠のお花見やイベント帰りに是非立ち寄って、フットパスを散策してみてはいかがでしょうか？

上牧里山づくり

↑詳しい活動は、上牧里山づくりのブログで。活動報告、イベント情報も掲載されています。http://ameblo.jp/satoyama13/

ストーブ塾

メンテナンスで皆さんのお宅にお伺いした際に「ストーブの寿命はどの位ですか？」と、聞かれる事があります。

薪ストーブは各家庭で使い方がそれぞれ違い、なおかつストーブの性能（燃焼状態）を大きく左右する煙突の状況も違います。一概にお答えするのは難しい質問なのですが、まず目安として、使用時間が挙げられます。別荘的な使い方のお宅と、二四時間休まず焚き続けるお宅では当然の事ながらストーブに与えるダメージに大きな差を生みます。

また使用する薪（太さ、乾燥具合）や、焚き方によってもストーブの傷み具合は大きく影響されます。

毎年二千件以上のストーブをメンテナンスする中で、ストーブの寿命（耐久性）とは、機種の差というより使い方による差が大きいと感じます。

ストーブに大きなダメージを与える事として左記が挙げられます。

＊細くてこまかい薪（一般的には焚き付けと言われるもの）を大量に燃やす事。建築端材も含まれます。

＊乾燥不十分な薪を焚く事。最初は燻していますが、ある時を境に一気に高温になります。この爆発的な燃焼が実はストーブに多大なダメージを与えます。

＊定期的なメンテナンス（正常な状態の維持と清掃）をしていない。

もちろん、高温域で焚き続けた場合も傷みは激しくなります。

高温で焚いたため赤く酸化し、傷み始めているバッフル（燃焼室上部の部品）。機種はダッチウェスト スモールコンベクションヒーター、使用歴は４年。

どんなストーブでも数年使っていれば、いずれかのパーツを交換することが必要です。補修パーツがメーカーより供給されなくなった時、そのストーブの寿命が来たと言えるかもしれません。

また、思いのほか修理費がかさみ、直すのにそれだけお金がかかるならいっそのこと買い替えようか？と考える時が、そのお宅にとってのストーブの寿命かもしれません。

薪ストーブの寿命は焚き方、またメンテナンス次第。デリケートな物ではありませんが、間違った使い方をすれば本来の性能を発揮しないばかりか、本体を傷めたり燃費の悪化など、数々の不具合をもたらします。実際五〇万円もする薪ストーブを、たった一シーズンでダメにしてしまった例もあります。

正しく使い、定期的なメンテナンスや点検を必ず行いましょう。

（ディーエルディー カスタマーサービス飯島）

Information

春のイベント開催！

今年も春のイベントを各地で開催！
詳しくは同封のチラシをご覧下さい。

Tool&Cooking 05 2015年春号が完成！

今回はポータブルグリルを持ち寄って、春の味覚を楽しもう！というテーマでお送りします！

メンテナンスキャンペーン実施！

メンテナンスはシーズンオフに！
お得なメンテナンスキャンペーン、始まります。
詳しくはお近くの代理店へ。

ストーブ、アクセサリー価格一部改訂のお知らせ

昨年末よりの市場動向の影響により、2015年３月１日より薪ストーブ・アクセサリー等一部商品の価格を改訂いたしました。
価格改定に従い、カタログをリニューアルいたしましたので、ご希望の方にお送りいたします。
お近くの代理店または（株）エープラスまでお気軽にご連絡ください。

Walden Pond Times（ウォールデンポンドタイムス）は株式会社エープラスがお届けしています。
A-Plus Group　The Best Products with The Best Service.
■PS.W 渡瀬建材　■GLR Project　■木ごこち　■ディーエルディー　■BAY STOVE　■里山ストーブ
■Sora Design　■ケイズ　■カントリー工房　■コネクト　■共栄木材　■NEST design　■本室製材所

出張レポート

USA ロックヒル
Rock Hill/USA

ロックヒル事務所での引き継ぎ風景。奥がスティーブ、手前がピーター。

アメリカ営業所
～サウスカロライナ・ロックヒル～

今回は、アメリカ営業所をご紹介します。

私達は、現在日本国内で販売しているデンマークのワム社のストーブやスウェーデンのウェッタリングス社のアックス、ドイツのワンダーブリッツ着火材などをアメリカ市場でも販売しています。

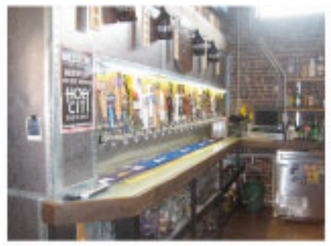
アメリカは日本と違って、薪ストーブの販売にあたっては、EPA(アメリカ環境保護庁)などの厳しい基準をクリアしなければなりません。

私達は二〇一三年、ワム社と共同でEPAテストに挑戦しました。試験に使うストーブは改善点があるとその都度デンマークへ送り返し、つくり直さなければなりません。テストストーブは大西洋を数回往復。大変な作業でした。そして大量のペーパーワークをこなし、ついに合格。やっとアメリカ国内での販売をスタートする事ができました。

このとき中心になって活動をしたマネージャー、スティーブ(本誌にも数回登場)は、昨年十一月定年退職となり、現在は後任のピーターが運営にあたっています。

ピーターは、ダッチウエストを製造している、ーモントキャスティングス社のエリアセールスマネージャーや、北米大手ストーブメーカーのナポレオン社のエグゼクティブセールスマネージャーという輝かしい経歴を持っています。ストーブ業界における顔の広さにはビックリ。きっと売上を伸ばしてくれるだろうと期待しています。

アメリカ営業所は今までスティーブのホームタウン、北東部ニューハンプシャー州にあったわけですが、マネージャー交代で、昨年九月ピーターの住むサウスカロライナ州ロックヒルへ引っ越しをしました。



事務所があるメインストリート。
この日はちょうど映画の撮影をやっていました。

上：事務所から一分でビアホール！地ビールなど、たくさんの種類のビールが楽しめます。
左：アフター5は「IPA（インディアペールエール）」とたまねぎフライ！これがロックヒル流。

サウスカロライナ州ロックヒル

ロックヒルはサウスカロライナ州の北部にある小さな街です。人口約六万六千人とのことですから、私達の本社がある長野県伊那市とほぼ同じ規模です。事務所は街の中心、メインストリートのほぼ中央にあり、周辺は古い建物と街路樹に囲まれたとても落ち着いた雰囲気です。向かいにはおしゃれなコーヒーショップと、昔の郵便局を使った美術館やアーティストショップがあります。元々繊維工場を中心として栄えた街ですが、工場が海外に移転してしまい、現在では近隣の大都市シャーロットなどのベッドタウンとしての内需中心です。ダウンタウンのすぐ近くには州立のウインスロップ大学など三つの大学があり、アカデミックな雰囲気のある街でもあります。

今年三月初めに全米の大きな展示会がテネシー州ナッシュビルで開催されることになっており、私達はここで初めてワムストーブの燃焼展示をします。

この新聞が皆さんに届く頃はもう展示会は終わっていますが、フェイスブックで詳しくご報告いたします。ぜひご覧ください。

ワムストーブの美しい炎に魅せられ、たくさんのディーラーがファンになってくれる事を楽しみにしています。

ロックヒルは観光地ではないので、旅行のコースにはきっと入らないと思いますが、素朴な南部の街に滞在したいという方はぜひご連絡を。ピーターの得意なBBQで、おもてなしをいたします。

（社長　三ツ井）

右：ピーターの家での夕食。婚約者イザベルも一緒。
下：食後のスコッチタイム。実はピーターはブルースマン。一九〇cmと長身のピーターだが、家族の中では「ちいさな」（おちびさん）と言われているそう！

ロックヒル市

サウスカロライナ州の州都、コロンビアより北に約70km。温暖湿潤気候で、湿気の多い夏と冷涼な冬が特徴。

ROCK HILL
SOUTH CAROLINA

ウインスロップ大学。世界中から学生が学びに来ています。

Dealer Report
（株）ディーエルディー
軽井沢営業所

〒389-0111
長野県北佐久郡軽井沢町長倉 333-3
TEL 0267-46-8620
http://www.dld.co.jp

日本を代表する別荘地、軽井沢にまたひとつ薪ストーブショップがオープンしました。長野県伊那市に本社を持つ(株)DLDの軽井沢ショールーム。

同県佐久地方にある軽井沢町は、江戸時代に中山道の宿場町として栄え、また浅間山の景勝地として有名になりました。

時代の移り変わりで一旦は衰退していた軽井沢を別荘地として新たな光を当てたのが、カナダ人宣教師のアレクサンダー・クロフト・ショーです。ショーは軽井沢の地が故郷のトロントに似ていると多いに気に入り、避暑地として国内外の外国人に紹介しました。彼らによって洋食を教えられた旅館が洋式ホテルとして生まれ変わり、宮城県の松島、長野県上水内郡の野尻湖と合わせて、「日本三大外国人避暑地」と呼ばれるまでになりました。

そうした背景から、軽井沢には昔から暖炉、薪ストーブのユーザーが多いのが特徴。ユーザーのニーズに答えるため、二〇一四年一〇月、DLD軽井沢ショールームがオープンしたのです。

もともとカフェだった建物を改装し、土地柄にぴったりなワム、アイアンドッグのおしゃれなストーブを体感できるショップとして人気を呼んでいます。

もちろん薪宅配サービスも対応。軽井沢観光・避暑の合間にぜひ訪れてみてください。

ウリポーとまき先生の環境教室
「カソカ」をかんがえる？

ウリポー：ねえ先生、「カソカ」って、なあに？

まき先生：「カソカ」？ああ、「過疎化」のことね。難しい言葉をよく知っているね。

ウリポー：きのう、テレビでやってたんだ。町や村に人がいなくなってお年寄りが困っていたよ。

先生：そうだね。小さな町や村ではははたらくところがなくて、若者やはたらく世代が都会に出て行ってしまったりして、人が少なくなってしまうことだね。

ウリポー：人が少なくなると、どうして困るの？

先生：まずお店はお客さんがいないとやっていくことができない。電車やバスも乗る人が少なければ減っていくよね。それに過疎化したところに残るのはお年寄りなんだけど、田んぼで稲を作ったり畑で野菜をつくるのも大変になってくる。学校だってなくなっちゃうんだよ。

ウリポー：ええっ！学校が・・・（大ショック）なんとかならないのかな？

先生：いちばん大切なのは、その町に「はたらく場所」をつくることなんじゃないかな。そうすれば若者も戻ってきて、そこで子供を育てることができる。

ウリポー：小学校もまたはじまるね！

先生：そうだね。実は、そうした過疎化をストップした町や村があるんだよ。そのキーポイントが、「木」なんだ。

ウリポー：わかった！山の木を売るんだね？

先生：そう！山の木を使って、電気を作ったりペレットや薪にして使うんだ。そうすれば外国から石油を買わずに、地元から木を買うから、はたらき口ができるってわけ。

ウリポー：今の山は木がたくさんありすぎるから、切らなきゃいけないって先生教えてくれたよね？その木を使ってお仕事をするんだね？

先生：大正解！こうした取り組みに成功したオーストリアの小さな町や、岡山県の真庭市というところがあるよ。

ウリポー：ラクテンのハッソウというやつだね！

先生：それを言うなら「逆転の発想」かな・・・

ウリポー
イノシシ小学校3年
自然環境に興味しんしん。
趣味は家中の電気を消してまわること。

まき先生
ウリポーの尊敬する海辺の先生。
環境や薪のことにくわしい。

オーナー探訪
八王子市
Green Gallery Gardens

東京都八王子市の東部、松木にあるグリーンギャラリーガーデンズ。園芸店・観賞魚店・雑貨店・アンティークショップ・マルシェ・レストランなどさまざまなお店が並ぶ複合施設です。

元々は観賞魚の販売から始まったお店ですが、徐々に園芸用品、アンティーク専門店など新しい事業をはじめ、平成一九年に現在のような複合施設として、リニューアルオープンしました。

四年前「食」も取り入れようと、新鮮な産直野菜を販売する「ガーデンズマルシェ」と、その野菜を使ったレストラン、「プラッスリー　オコジュ」が開店。新鮮な野菜とシェフの確かな腕が人気を呼び、平日のランチでも順番待ちがでるほどです。

そのプラッスリー　オコジュの一角に、アイアンドッグのNo.4が設置されています。オーナーが直接イギリスで買い付けて来られたテーブルや椅子・調度品と見事に調和し、炎を眺めているとヨーロッパの歴史ある建物にいるのではないかという気分になります。

こちらの写真をご覧になり、「どこかで見たことがあるかな？」と思われた方は大正解。

「Tool & Cooking 04」二〇一四年冬号の撮影に使わせていただいた場所なのです。そして向かいの「ガーデンズマルシェ」には、ワムのクラシック4やアイアンドッグのクッキングストーブNo.6、ダッチウエストのラージコンベクションヒーターなどを展示する、ストーブコーナーを開設。都内で薪ストーブを体感できるショップとして、ご協力をいただけることとなりました。

敷地内だけで、優に一日過ごせてしまえそうなグリーンギャラリーガーデンズ。ぜひ、訪れてみてください。

グリーンギャラリーガーデンズ　八王子市松木一五―三
（電話　042―676―7115）
京王相模原線　京王堀之内駅から徒歩で十五分）

レストランはオープンキッチンになっていて、シェフの華麗な腕さばきも見ものです。